

2024 年度第 3 四半期決算について

2025 年 1 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2024 年度第 3 四半期（2024 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日）の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、燃料価格の低下等により、燃料費等調整額が減少したことなどにより、前年同期比 1,417 億円減の 4 兆 9,633 億円となりました。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 1,697 億円減の 3,487 億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費 647 億円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損益は、2,431 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第 3 四半期 (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
売 上 高	49,633	51,050	△ 1,417	97.2
営 業 損 益	3,110	3,825	△ 714	81.3
経 常 損 益	3,487	5,184	△ 1,697	67.3
特 別 損 益	△ 647	△ 1,087	439	—
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 損 益	2,431	3,513	△ 1,082	69.2

【セグメント別の経常損益】

2024 年度第 3 四半期のセグメント別の経常損益は以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、卸電力販売の増加などにより、前年同期比 667 億円増の 1,312 億円の利益となりました。
- 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 1,009 億円減の 507 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が増加したことなどにより、前年同期比 797 億円減の 1,042 億円の利益となりました。
- 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年同期比 681 億円減の 1,546 億円の利益となりました。
- 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、修繕費が増加した一方、卸電力販売が増加したことなどにより、前年同期比 77 億円増の 515 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第3四半期 (A)	前年同期 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
経常損益	3,487	5,184	△ 1,697	67.3
東京電力ホールディングス	1,312	644	667	203.5
東京電力燃料&パワー	507	1,516	△ 1,009	33.5
東京電力パワーグリッド	1,042	1,840	△ 797	56.7
東京電力エナジーパートナー	1,546	2,228	△ 681	69.4
東京電力リニューアブルパワー	515	437	77	117.8

【2024年度業績予想】

2024年度の業績予想については、合理的な数値の算出が困難であるため、現時点で未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階でお知らせいたします。

なお、フリー・キャッシュ・フローについては、投資を厳選しているものの、原子力関連の投資先行や、送配電部門におけるレベニューキャップ制度の第一規制期間で、制度で想定されていない物価上昇により、一部費用の回収ができていないことなどの要因により、引き続きマイナスを見込んでおります。当社は、福島責任貫徹のための資金確保に向け、一層の投資精査・経営効率化を図ると同時に、確実に投資回収が図れるよう、必要な取り組みを進めてまいります。

以上

添付資料

・[決算概要](#)

- ・「決算短信等」については[こちら](#)をご覧ください。
- ・「特別損益の計上に関するお知らせ」については[こちら](#)をご覧ください。